

平成29年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 堺市上下水道局		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道サービスセンター 郷田 秀章 TEL 072-244-0782 FAX 072-247-1744 Mail gouda-h@city.sakai.lg.jp	
代表者氏名 堺市上下水道事業管理者 出末 明彦		(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	
担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】			
部門名 広報部門①行政広報部門	事例名 「下水戦士マモルンダー」の下水道啓発キャラバン		
<p>本市下水道部では、「市民の安全・安心で快適な暮らしの実現」と「都市機能の保全」を主な目的とし、24時間365日、下水道の維持管理業務に取り組んでいる。「市民と街を守るヒーロー的な仕事」といえば、警察や消防のイメージを強くもたれているかもしれないが、下水道を守っている職員も陰ながら「市民と街を守るヒーロー」として日夜がんばっている。</p> <p>このことを広報するため、新しい下水道広報の広告塔として、職員をモチーフとした「下水戦士マモルンダー」が、下水道管を詰まらせる油やゴミ、ゲリラ豪雨などを擬人化したモンスターと戦うPR手法を企画した。</p> <p>区民まつりのようなイベント会場等で、下水道に流れる油やゴミから生まれたモンスターの「ヘドローネ」や、都市部のヒートアイランド現象で多発するゲリラ豪雨から生まれたモンスターの「ゲリラゴ・ウー」と戦い、このようなモンスターが二度と生まれてこないように皆さんに正しい下水道の使</p>			
			
下水戦士マモルンダー		イベントステージでのPR	
<p>い方や、雨水貯留タンクの設置協力などをPRし、マモルンダーと一緒に街を守ろうという下水道啓発を行った。</p> <p>また、本市には市民からの依頼で市役所の仕事を説明する「出前講座」という事業があり、下水道部でも年に2回程度、幼稚園等に出向いてPRを行っていたが、平成29年度から内容を「マモルンダーの正しく使おう下水道講座」に変更したところ、4月時点で高校や幼稚園等から10回分以上の申し込みがあり、昨年度までとくらべて、多くの皆さんに下水道の啓発ができる見込みである。</p> <p>本局では、毎年6月に三宝水再生センターにおいて「三宝あじさいまつり」を開催し、多くの市民の皆さまに、あじさいと下水処理場を見学していただいている。本年度はこの会場において、現在、話題となっている「マンホールカード」を活用し、府内のマンホールカードとマンホール蓋（実物）及び下水道管路模型の展示を企画している。この場で「下水戦士マモルンダー」が、マンホール蓋の中の世界を説明し、下水道に流していいものや悪いものをはじめ、下水道の正しい使い方を多くのお客さまにPRする予定である。</p> <p>これまで本市の下水道広報は、一方的な情報発信になりがちだったが、これからは、お客さまが見たくなる、お客さまの方から呼んでみたくなる広報に努め、一人でも多くの方に「いいね!」と言っただけのような広報を「下水戦士マモルンダー」と進めていく所存である。</p>			
エントリー事例の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局が一方的に発信するだけの広報でなく、広告塔となる「下水戦士マモルンダー」が情報発信することにより、お客さまが見たくなる、お客さまの方から呼んでみたくなる仕掛けを作った。 ・低予算で広報効果を出せたことをはじめ、お客さまに喜んでいただけることで、広報を担当する若手職員のモチベーション向上に寄与できている。 			
付属資料の提出	あり ・ なし (どちらかに○)		